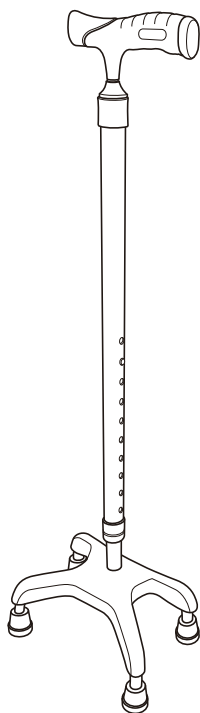


四点杖

取扱説明書



目次

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
使いかた	6
杖の長さとの向き	6
ベースの向きについて	6
長さの調節	7
ベースの向きの変えかた	7
使用について	8
平地歩行	8
階段の上り下り	10
使用上のご注意	10
保守・点検	10
保管について	11
保証書	裏表紙

はじめに


この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。
また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。


本書で使用しているイラストは、ご購入いただいた製品と異なる場合があります。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止
するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。
表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。

【表示の意味】


 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が
予想される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性
および物的障害の発生が想定される内容を示しています。


【記号の意味】


 警告・注意を促す内容があることを告げるものです。


 禁止の行為であることを告げるものです。


 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告


 **本製品は必ず、医師や理学療
法士などの専門家、または販
売店の指導に基づいてご使用
ください。**



 **身体に合った適切な長さとし
正しい台座の向きに合わせて
ご使用ください。
(p.6 杖の長さ参照)**


 **ご使用前には必ず各部の点検
をしてください。
(p.10 保守・点検参照)**


 **杖に破損、変形、ぐらつきなど
の異常がある場合は使用を
中止し、販売店などにご相談
ください。**


 **警告**


-  **高さ調整用のプッシュボタンが穴から飛び出し確実に固定リングが締まっていることを確認して使用ください。**

固定リングにゆるみがあると、使用中に突然杖の長さがずれて転倒するなどの事故やけがにつながる恐れがあります。
-  **杖先ゴムが破れていたり、摩耗などの異常がある場合は交換してください。**
-  **曲がった杖は使用せず、修理に出してください。**

曲がったまま使用すると杖が破損し転倒などの事故やけがにつながる恐れがあります。
-  **濡れた床等、路面が滑りやすくなっている場所での使用は十分注意してください。**










ぬかるみや砂利道などではバランスを崩す恐れがありますので、ご使用はお避けください。
-  **階段や段差などの上り下りの際は、必ず四本の脚部が同じ段に乗るよう十分注意してください。**

四本の脚部が同じ段に接地していないと転倒などの事故やけがにつながる恐れがあります。
-  **屋外で使用される場合は、電車やエレベーターなどの自動ドアに巻き込まれないよう注意してください。また杖の先端が道路の溝やくぼみなどの穴にはまらないよう注意してください。**

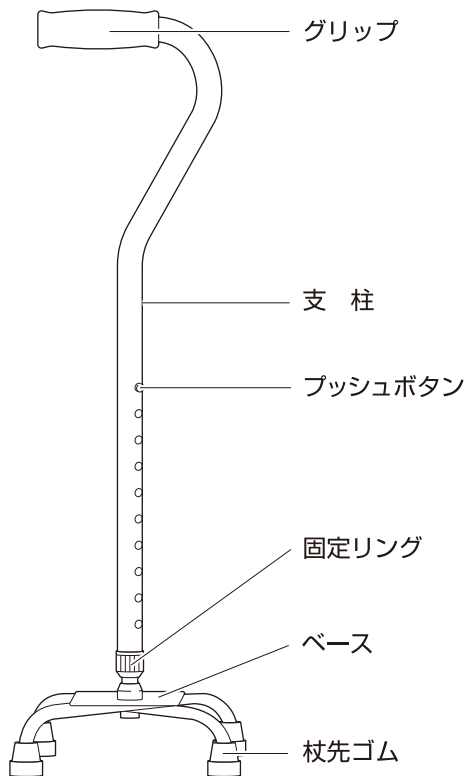
転倒などの事故やけが、杖の変形・破損につながる恐れがあります。
-  **屋内で使用される場合は、じゅうたんや家具のすき間にはまらないよう注意してください。**

はまった状態で杖に無理な力を加えると、転倒などの事故やけが、杖の変形・破損につながる恐れがあります。

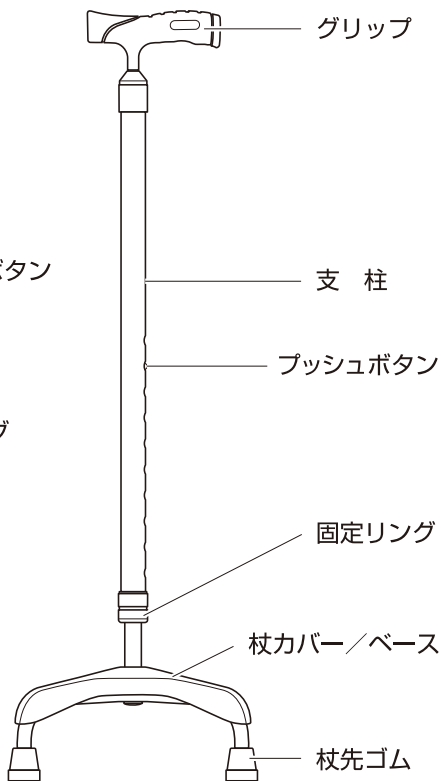
⚠️ 注意

-  **本製品は歩行補助用に使用する杖です。登山用や護身用、ベッドなどに取りつけて手すりとして使用するなど、他の用途に使用しないでください。**
-  **杖を倒さないでください。**
杖の変形・破損につながる恐れがあります。
-  **ベッドやいすから立ち上がる際に、立ち上がり動作の補助具として使用しないでください。**
杖の変形・破損につながる恐れがあります。
-  **グリップの端部に力をかけないでください。**
-  **杖を振り回したり投げるなどの乱暴な取り扱いはしないでください。**
周囲の人や物を傷つけたり、杖の変形・破損につながる恐れがあります。
-  **本製品は歩行を補助するためのものです。全体重を支えることはできません。**
-  **本製品を火気に近づけないでください。**
先ゴムなどが変形したり、熱くなった金属部分でやけどをす
る恐れがあります。
-  **湿気の多いところや雨風の当たるところ、直射日光の当たるところに本製品を放置しないでください。**
各部の劣化や錆びの原因になります。
-  **杖を改造して使用しないでください。**
転倒などの事故やけがにつながる恐れがあります。

各部のなまえ



品番 : MRA-01611
MRA-01612
MRA-01613
MRA-01621
MRA-01623

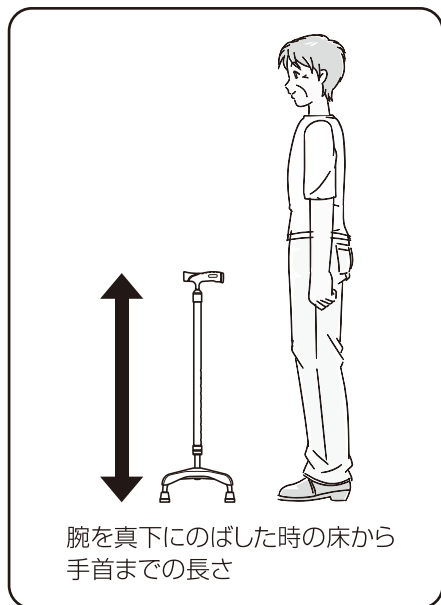


品番 : MRA-06601 MRA-06606
MRA-06603 MRA-06607
MRA-06604 MRA-06608
MRA-06605

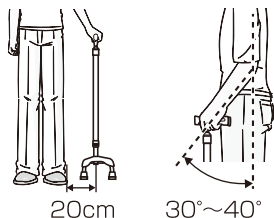
使いかた

杖の長さとうき

通常使用する履き物を履き、力を抜いて自然に立ち（腰の曲がった方は曲がった状態）、次のように正しく杖の長さを合わせてください。

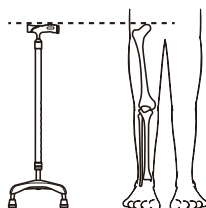


その他の合わせ方①



杖先を足先の前外方20cmの位置についた時、肘の角度が30°~40°になる長さ

その他の合わせ方②



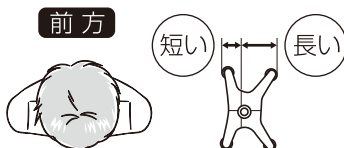
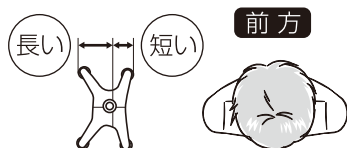
● ベースの向きについて

図のように、持つ手によってベースの向きを変えてください。

※変えかたについてはP7をご参照ください。

健常な足が左の場合(左手用として使用)

健常な足が右の場合(右手用として使用)



長さの調節

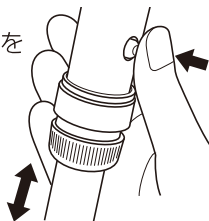
⚠ 注意

- ・調節後、プッシュボタンが完全に穴から出ていることをご確認ください。
- ・ガタつきなどがないか十分にご確認の上、ご使用ください。

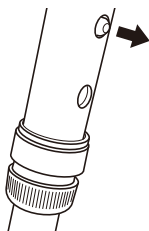
- 1** 固定リングをゆるめます。



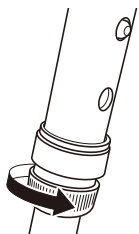
- 2** プッシュボタンを押し長さを調節します。



- 3** プッシュボタンが完全に穴から出ていることを確認します。

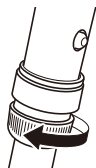


- 4** 固定リングを締めます。

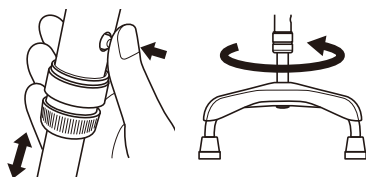


● ベースの向きの変えかた

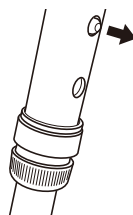
- 1** 固定リングをゆるめます。



- 2** プッシュボタンを押しながら、ベースを180°回転させます。



- 3** プッシュボタンが完全に穴から出ていることを確認します。



- 4** 固定リングを締めます。

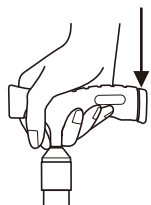


使用について

⚠ 警告

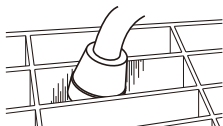
杖を使用する際の正しい歩行方法は、使用される方の身体の状態により異なりますので、医師や理学療法士などの専門家または販売店の指導に基づいてご使用ください。

グリップの端部に力をかけないでください。

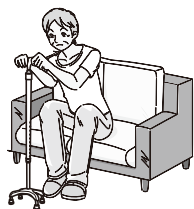


すべる手袋は使用しないでください。

⚠ 溝等にはまらないように注意してください。



ベッドやいすから立ち上がる際に、立ち上がり動作の補助具として使用しないでください。



● 平地歩行

⚠ 警告

- ・使用前に高さ調整用のプッシュボタンが穴から飛び出し確実に固定リングが締まっていることをご確認ください。
- ・使用の際には、四本すべての脚部が接地するようご注意ください。四本すべての脚部が接地しない場合、転倒などの事故やけがにつながる恐れがあります。
- ・濡れた床等、路面が滑りやすくなっている場所での使用は十分注意してください。ぬかるみや砂利道などではバランスを崩す恐れがありますので、ご使用はお避けください。

杖は基本的には、健側につき、患側への加重量を減らすことを目的とします。不安定な場合には3点動作歩行を行い、安定している場合には2点動作歩行を行います。

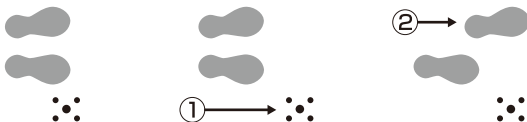
杖を持つ手との兼ね合いで患側につくことがありますが、健側につく場合と比べて安定性や免荷（加重の減少）は悪くなります。

3点動作歩行 (常時2点歩行)

1 杖を前につきます。

2 患側の足を前に出します。

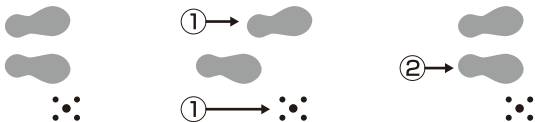
3 健側の足を前に出してつきます。



2点動作歩行 (2点1点歩行)


1 患側の足と杖を同時に前に出してつきます。

2 健側の足を前に出してつきます。

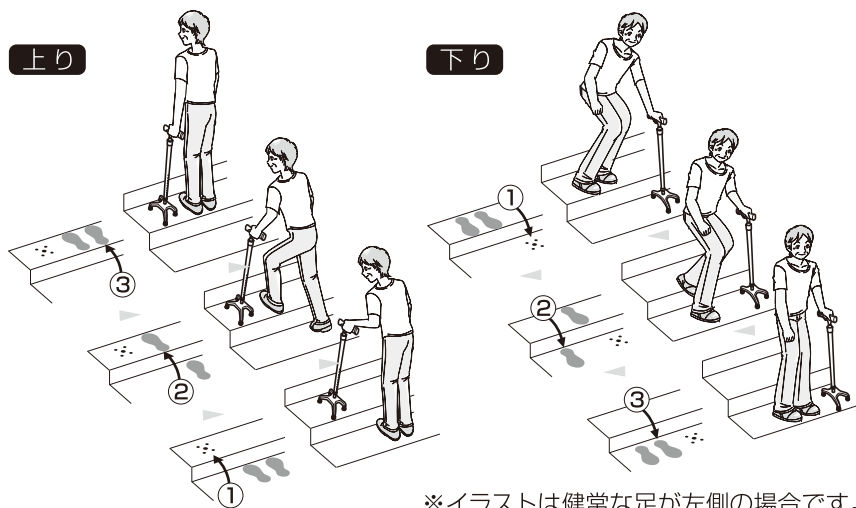


※イラストは健常な足が右側の場合です。

● 階段の上り下り

<p>⚠ 警告</p>	<p>階段や段差などの上り下りの際は、必ず四本の脚部が同じ段に乗るよう十分注意してください。四本の脚部が同じ段に接地していないと転倒などの事故やけがにつながる恐れがあります。</p> 
--------------------	---

階段の上りでは杖から健側の足、患側の足の順番で行います。また、下りる場合には杖、患側、健側の順番で行います。脚部が4本のため、すべての脚が均等に接地する必要があり、階段面がそれだけの広さを必要とします。(杖の接地面としてタテ210×150mm以上必要)



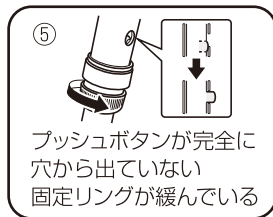
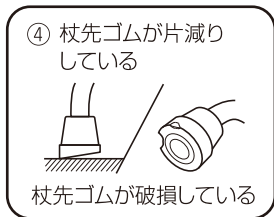
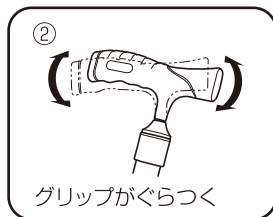
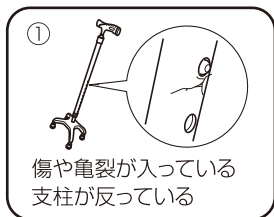
使用上のご注意

保守・点検

使用前には必ず右記の事項を点検・整備して、常に安全な状態で使用してください。製品に異常がある場合は使用をとりやめ、販売店にご相談ください。

* 修理・調整は必ず販売店へ依頼してください。

- ・ 杖の支柱部分に傷や亀裂が入っていたり、支柱が反っている場合は使用しないでください。
- ・ グリップがぐらつく場合は使用しないでください。
- ・ 杖先ゴムの溝がなくなっている、先ゴムが片減り・破損している場合は交換してください。
- ・ プッシュボタンが完全に穴から出ていない場合は、位置を調整し直し確実に飛び出す位置に合わせてください。固定リングをしっかり締めて固定してください。調整ができない場合は販売店にご相談ください。
- ・ 杖に水分やホコリ・泥などが付着している場合は、早めに乾いた布などで拭き取ってください。
汚れのひどい時は中性洗剤を使用して汚れを取り除いた後、乾いた布で拭いてください。
- ・ 揮発性材（シンナー・ベンジン・アルコール類）を使用しての清掃は行わないでください。変色したり劣化の原因となります。



保管について

- ・ 次のようなところでは、保管しないでください。故障の原因となります。
雨にぬれるようなところ、湿気の多いところ、直射日光が当たるところ、炎天下など高温になる場所
- ・ 杖の上に物を乗せたり、物を引っかけたまま保管しないでください。
- ・ 杖は立てた状態で保管してください。

廃棄について

環境保護のため廃棄の際は、各自治体の取りきめに沿って行ってください。